

茨城県神栖市における有機ヒ素化合物汚染等への緊急対応策に必要な  
経費 1,505百万円(1,746百万円)

環境保健部環境安全課環境リスク評価室

## 1. 事業の概要

茨城県神栖市<sup>かみすし</sup>において、自然界には存在しない有機ヒ素化合物であるジフェニルアルシン酸による環境汚染に起因する健康影響が生じていることにかんがみ、早急にその原因解明及び健康影響への対応等が必要なことから平成15年6月6日の閣議了解に基づき対策を実施するとともに、昭和48年の「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査結果を受けた平成15年12月16日の閣議決定に基づく対策を引き続き実施するものである。

### (1) 茨城県神栖市におけるジフェニルアルシン酸による環境汚染及び健康影響に係る緊急措置事業費

健康診査の実施

医療費及び療養手当の支給

健康管理調査等の実施

臨床医学等の専門家からなる検討会の開催による調査研究の実施

### (2) 健康に関する調査研究

動物実験による毒性発現メカニズム(病態)の研究

治療法の開発

人への健康影響に関する調査研究

### (3) 環境調査等業務

茨城県神栖市で発見されたコンクリート様の塊の処理、神栖市汚染農地における土壌モニタリング、A分類の事案の継続的モニタリング、及びBC事案に関するモニタリング等を行う。

### (4) 毒ガス情報センター

毒ガス情報センターにおける継続的な情報収集、収集した情報のデータベース化による国民の情報へのアクセスの確保、パンフレット作成などの情報の普及啓発を行う。

## 2. 事業計画

年 度	15	16	17	18	19	20
(1) 緊急措置事業費	←————→					
(2) 健康に関する調査研究	←————→					
(3) 環境調査等業務	←————→					
(4) 毒ガス情報センター					←————→	

## 3. 施策の効果

茨城県神栖市における有機ヒ素化合物による環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業等については、ジフェニルアルシン酸の健康影響等についての解明を図る。また、国内における毒ガス弾等に関する環境調査等を着実に実施するとともに、毒ガス情報センターにおいては、毒ガスに関する情報を継続的に受け付け、集約した情報を分析し、周知広報を実施することにより、被害の未然防止を図ることができる。

# 毒ガス対策関係の環境省における取組について

		～16年度	17年度 (17.5億)	18年度
A 事案	神栖	汚染原因調査 ・汚染源絞込み後、南東90°掘削開始 ・コンクリート塊発見  汚染土壌処理 モニタリング	・コンクリート塊処理方法検討  汚染メカニズム解明 (0.8億円)  (1億円)	(廃棄物処理行政との適切な役割分担)  コンクリート塊の処理(新規)  汚染メカニズム解明(継続) ↓ モニタリング(継続)
	寒川・平塚・習志野	環境調査(裸地) ・裸地における地下水・大気・物理探査・土壌・表層ガス調査・不審物確認調査終了。 土地変更時の環境調査 モニタリング	終了(2.5億円) ・平塚のみ地下水からDPAA等毒ガス成分検出 ・土地変更時対応を適切に行えば、日常生活の危険性なし (0.5億円)  (1億円)	平塚事案対応(新規)  土地変更時の環境調査(継続)  モニタリング(継続)
B / C 事案		情報収集・地下水調査の結果を踏まえ評価 ・要対応10事案決定	環境調査等 → 終了 ・要対応10事案について土壌、大気等調査等 (9.1億円)	モニタリング(新規) ・環境調査の結果、毒ガス成分を検出した事案への対応
毒ガス情報センター		情報収集	(0.6億円)	情報収集(各事案・新規事案)(継続)
健康影響関係		緊急措置事業 健康影響研究	(合計で2.5億円)	緊急措置事業(継続) 健康影響研究(継続)
その他			水域調査 (0.1億円) 毒ガス汚染物性調査 (0.4億円)	汚染農地土壌モニタリング